



咲 啄 同 機

若松原中学校学校だより
第10号
令和6年11月29日
発行者 永井高穂



令和6年度スローガン 「挑み 鍛え 前へ」

上記QRコードより、「若松原中学校」ホームページもご覧ください。

自分たちの町を 自分の手で

ビックリーン大成功！！！！

11/16（土）に土曜授業の一環として行われましたビックリーン。若松原中の伝統行事です。校庭の落ち葉掃きから、校内廊下のワックスがけ、壁のペンキ塗り、トイレ掃除、近隣の公園のゴミ拾いまで、みんなで分担し、自分の担当したところを徹底的にきれいにしました。

ひとりひとりが自らの足で手で、若松原中のために、ひいては若松原地域学校園のために尽力しました。大変すばらしい活動でした。



学校公開ウィーク R6.11.11~16

お忙しい中、来校いただきありがとうございました。来校者のアンケートをまとめました。

- ・体育の授業を観に来ました。普段の様子が見れて、良かったです。
- ・授業を見学できて大変有意義に感じました。
- ・1週間公開ウィークがありましたので、好きな曜日に見に来ることができました。子どもの様子や学校の様子を見ることができ、良い時間となりました。テストの週と重なってしまったことは少し残念でした。
- ・授業参観の機会をいただき、ありがとうございました。生徒の皆さんがそれぞれの教科に熱心に取り組む姿を素晴らしいと思います。それを支える先生方の工夫に富んだ教え方があればこそと、その努力に頭が下がる思いです。
- ・各クラスの廊下の掲示物も整然としていて、担任の先生方の温かいコメントに心を打たれました。
- ・授業中騒がしいクラスがあった。

宮っこチャレンジウィーク（2年生）

社会体験学習 どんな学びがあったでしょうか？

先週一週間、社会に出て、どんな感想を持ったでしょうか？朝から大きな声で元気よくあいさつできましたか？自分の言葉でしっかりと思いや考えを伝えることができましたか？誰かが何かをしてくれる、なにかにしてくれるはずだ、ではなく、自分が進んで行うことの大切さが分かりましたか？

学校生活で普段言われていることと共通すること。学校生活でとは違うこと。いろいろなことが社会生活の中で必要なことが分かったと思います。「自分のことは自分でやる」「自分のことを自分の口から伝える」こんなあたりまえのことが、社会では大切だと感じられたでしょうか。ぜひ、今回の体験を振り返ってください。そして、得たこと、考えたことを整理し、一人一人が自分の進路を考えるきっかけとしてほしいです。



安全・安心な自転車の利用のために



令和4年4月1日より、上記条例が施行され、生徒等の自転車の安全な利用を促進するため、全ての自転車利用者のヘルメットの着用の定着及び保険加入の徹底を図ることになりました。中学校では、登下校時のほかに、学校行事・部活動等で自転車を利用する場合は、ヘルメットを着用することになっています。努力義務となっていますが、本市としては必ず着用となっております。ご家庭におきましても、常日頃から自転車利用時はヘルメットを着用するようにご指導をお願いいたします。また、令和4年7月1日より自転車保険加入が義務化となっています。子どもたちの自転車の安全な利用にご協力ください。



学校保健給食委員会

学校保健給食委員会を実施しました。学校医さん、PTA 代表者、地域学校園の栄養教諭や養護教諭に参加いただきました。数年ぶりに給食の会食も実施し、本年度の新体力テストの結果と課題や本校の給食の運営や栄養摂取状況について説明しました。また、養護教諭から今年度の定期健康診断結果について報告がありました。さらに今年は、生徒会の給食委員会の代表生徒による、給食委員会のSDGsの取組として、生産者訪問の実施報告及び、毎日の給食における給食委員の活動について説明がありました。生徒は、堂々と発表し素晴らしかったです。

